

## 別紙 2

### 実技系研修A～D (13:00～17:30) 相模原キャンパス

\* A～Dより1つお選びください。(定員に達し次第締め切ります)

\* 午前中の講義系研修 I・IIから引き続き受講ください。

#### A. 実技系 (絵画) : 『古典技法「モザイク」』 定員 : 20 名程度

**内容** : この授業では古典技法である「モザイク」を体験します。石で絵を描くとはどういうことでしょうか? 「大理石」という絵の具と筆以外の素材で「描いて」みることで、描くこととは何であるのかあらためて考えるきっかけを持っていただきます。最後は完成した作品を寄せて並べ、鑑賞を行います。(スライドを用いたモザイク作品鑑賞、専用割台とハンマーによる石割に関する演習も含まれます。)

**持ち物** : 約 12cm×12cm の下絵 (自分の苗字か名前のイニシャルを簡略化したもの)



<講師> 山内 隆 教授  
芸術学部 美術学科  
洋画専攻

#### B. 実技系 (日本画) : 『石と親しむー天然顔料の魅力ー』 定員 : 20 名程度

**内容** : 現代は科学技術の進化により表現手段が多様になり充実しています。そのような現代において、石から顔料を作る原初体験は、身体性を感じる貴重な機会となると考えます。日本絵画の模写を通してその魅力を感じてもらえればと思います。

**持ち物** : 筆記用具/マスク (粉塵防御のため) /汚れても良い服装



<講師> 宮島弘道 教授  
芸術学部 美術学科  
日本画専攻

#### C. 実技系 (環境デザイン) : 『お正月のウィンドウ・ディスプレイ』

##### 定員 : 10 名程度

**内容** : ウィンドウ・ディスプレイはご存知の通り商品の立体的な広告媒体です。広告の分野は、近年 Web デザインやデジタル・サイネージなどの新しい媒体に展開されていますが、リアルの世界で街角を彩るウィンドウ・ディスプレイの訴求力も未だに健在です。この研修では、縮尺 1/4 のウィンドウ外郭の模型 (ウィンドウ部の幅 37.5cm×高さ 8.8cm×奥行き 11.8cm) は用意しますので、中身の模型制作を中心に行います。模型作りは、産学連携授業などグループで実際に空間演出を行う際に、全員でイメージを共有することに役立ちます。テーマは「お正月」としますが、商品広告だけではなく、社会問題や環境問題への企業理念の発信、自治体の地域への地元愛喚起など、メッセージの内容は自由に設定していただいて結構です。

**持ち物** : 模型を作る基本的材料や道具は用意しますが、予め作品イメージを想定して頂き、特別なモチーフが必要な場合はご持参ください。



<講師> 吉田貴子 教授  
芸術学部 デザイン・工芸学科  
環境デザイン専攻

#### D. 実技系 (工芸[陶芸]) : 『電気窯で備前風 焼き締め皿を焼く/野焼きに挑戦』

##### 定員 : 15 名程度

**内容** : 釉薬を使わず、2種類の焼成方法で作品を焼き仕上げます。1つは、電気窯でも備前焼のような味のある焼き上がりを目指します。窯詰めの作業が焼き上がりに影響するため、作品の窯詰めの作業を体験して頂きます。2つめは、屋外での野焼きで作品を仕上げます。レンガを組み、もみ殻(木くず)を燻し作品を炭化させる焼成方法です。こちらもレンガを組むところから体験していただけます。

※焼成方法の研修となるため、作品はこちらで事前にご用意いたします。

電気窯焼き締め作品 : 板皿 2 枚 / 野焼き作品 : 作品 1 点

※素焼きした作品をご用意できる方は当日持参していただくこともできます

※使用粘土 陶芸用 赤土

※窯のサイズや郵送することを考慮し、作品サイズを指定させていただきます。

電気窯焼き締め作品 : 板皿 2 枚 1 枚のサイズ 縦 12 (cm) × 横 12 (cm) × 厚み 約 1.5 (cm)

野焼き作品 : 作品 1 点 縦 15 (cm) × 横 15 (cm) × 高さ 15 (cm)

野焼き作品の形態は問いませんが、細い薄いものは郵送時に破損の可能性があります。

完成作品は食器使用不可。

※研修日当日は作品のお持ち帰りはできません。後日ご配送となります。

**持ち物** : エプロン 汚れても大丈夫な服装



<講師> 小山暁子 助教  
芸術学部 デザイン・工芸学科  
工芸専攻